

三菱ダクト用換気扇

用途	ミニキッチン・給湯室用
形名	VD-18ZY12

〈50Hz地区専用〉
※60Hz地区では使用できません。

用途	台所・居間・事務所・店舗用
形名	VD-18Z12 VD-18ZP12 VD-20Z12 VD-20ZH12 VD-20ZP12 VD-23Z12 VD-23ZP12 VD-23ZH12

用途	台所・居間・事務所・店舗用
形名	VD-20ZPP9-T2 VD-20ZPPH9-T2

取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。
コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けしないでください。
(安全や機能の確保ができません)

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

お客様

本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗・台所（ミニキッチン）の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

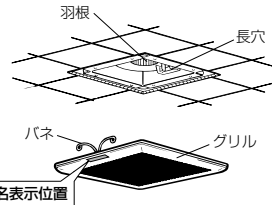
	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		浴室での使用禁止		接触禁止		感電注意		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	----------	--	------	--	------	--	-------

	禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。		●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。	
	水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。			●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
	分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。			●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
	指示に従う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。			感電注意

注意

	●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。 また、使用しない 火災の原因。		●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないけがの原因。
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。
	●浴室など湿気が多い場所には据付けない。 また、使用しない 感電・故障の原因。		●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
			●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
			●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。
			●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2.各部のなまえ



グリルの据付け方向を90°変えることができます。

裏面の「グリルの調整」を参照ください。

ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。
（グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。
（製品の变形や早期故障の原因となります）
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
（台所用中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうさんの薬剤、クレンジャーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因となります）

3.使用方法

注意

- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
- 風量強弱切替機種はコントロールスイッチで風量を「強」・「弱」に切り替えることができます。コントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

- お願い**
- 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）
 - IHクッキングヒーター（電気コンロ）などを設置したミニキッチン・台所に据付けた場合、蒸気が大量に発生する調理をされると、換気扇本体に結露（水滴）が生じ滴下するおそれがあります。
その際は「鍋などに蓋をする」、「早めに加熱量を調整する」など水蒸気量が少なくなるようにしていただくか、滴下する前にグリルと本体内部を乾いた布などで拭き取ってご使用ください。
（IHクッキングヒーターはガスコンロに比べ熱効率が高く、調理時に換気扇の周辺温度が上がりにくいため、特に冬期の温度が低い場合に換気扇で結露（水滴）が生じるおそれがあります）

- お知らせ**
- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを付けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。

「強」運転の上手な使いかた

- 水蒸気や油煙などを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。

4.お手入れのしかた

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。
3か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。
※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。

6. アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は 技術料+部品代 (+出張料) などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用 (出張料) や有料駐車場の費用 (駐車料) を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 ダクト用換気扇
2. 形名 VD-0000
3. お買上げ日 ○年 ○月 ○日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

⚠警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

⚠注意

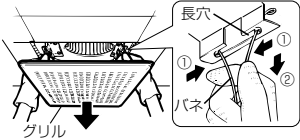
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

●お願い

- 洗剤などをご使用の場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。
- 2.各部のなまえの **ご使用にあたってのお願い** に記載の溶剤・洗剤を使用しないでください。

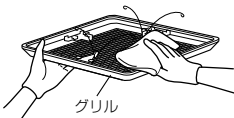
1 グリルをはずす

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- パネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。



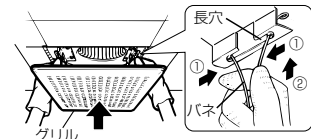
2 汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 油煙の発生する場所でご使用されている場合、別売のグリスフィルターがグリルに据付けられています。(VD-20ZPP9-T2、VD-20ZPPH9-T2にはあらかじめグリスフィルターが据付けられています)
- グリスフィルターは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯 (40℃以下) に浸し、タワシなどで表面を軽くこすって汚れを落としてきれいな水ですすぎ洗いをし乾かしてください。(金属タワシなどは使用しないでください)
- グリスフィルターの据付け・取りはずしは、「グリスフィルターの据付け・取りはずし」を参照してください。



3 グリルを据付ける

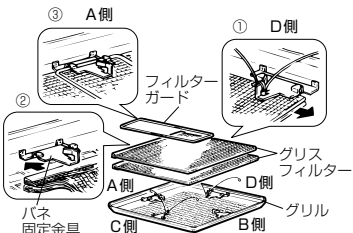
- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。



グリスフィルターの据付け・取りはずし

- グリスフィルターをお手入れの際は以下の手順で据付け・取りはずしを行ってください。

- (1) 右図のようにグリスフィルターを2枚合わせてA側方向からC・D → B → A側の順にパネ固定金具とグリルの間に差し込みます。A側に差し込む際に、グリスフィルターをグリルから浮かすと差し込みやすくなります。
- (2) フィルターガードをA・B側のパネ固定金具に引掛けてグリスフィルターをpushしてください。
- (3) 取りはずしは据付けと逆の手順で行ってください。



5. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。急激なドアの開閉や外風が強いなどに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。
- コントロールスイッチ (ランプ付) の仕様により、「強」、「弱」運転切替えでランプの点灯が薄くなったたり、ちらついたりすることがあります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。
(<http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>)



このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても換気扇が運転しない。
- プレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？
- 羽根が回転しているか確認してください。運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。
- 換気されない、換気量が不足する。
- 羽根に異物が付着していませんか？
- 運転中に異音がある。
- 給気不足ではありませんか？ (給気ガラリ、給気口は開いていますか?)
- グリルから室内に風が吹き返す。
- 屋外フードにはこが堆積していませんか？
- 運転中に振動がある。
- グリルや本体が確実に据付けられていますか？
- グリルがはずれかけている。または傾いている。
- 本体に確実に据付けてください。

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。
費用については販売店に相談してください。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！



- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がある。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- 点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

形名: _____

お買上げ年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

サービス依頼するとき (住所) _____

(電話番号) _____

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合 (転居や贈答品など)は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. お問合せ (ご依頼) いただいた個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 - 工事および製品のお取り扱いに際してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質、サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 - 上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令等定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご依頼は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)

携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)

■ご相談対応

平日 (土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~19:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

www.melco.co.jp
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合

TEL **0570-01-8634** (有料)

FAX **0570-03-8634** (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

S20A-KANKI-A

7. 仕様

電圧100V

形名	設定	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-18ZY12	—	32	36	270	260	38	37	5
VD-18Z12	—	31	35	330	325	36	35.5	5.2
VD-18ZP12	—	35	40	370	350	34.5	33.5	5.9
VD-20Z12	—	44	48	420	400	37.5	36.5	6
VD-20ZH12	強	58	64	520	500	42.5	41.5	6.5
	弱	28	30	330	310	33	32	
VD-23Z12	強	78	88	635	600	43.5	42.5	9.3
	弱	40	43	380	350	33	31	
VD-23ZP12	強	95	106	760	700	46	45	10.3
VD-23ZPH12	弱	44	47	460	400	35	33	
VD-20ZPP9-T2	強	78	—	620	—	49	—	7.2
VD-20ZPPH9-T2	弱	50	—	450	—	41	—	

※特性はJIS C 9603Iに基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件 (右表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保證するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】 本体に範囲4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】 15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件 JIS C 9921-2		定格電圧による
電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	JIS C 9603から引用
湿度	65%	
設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件	定格負荷	「7仕様」による

注) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！



- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がある。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- 点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

形名: _____

お買上げ年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

サービス依頼するとき (住所) _____

(電話番号) _____

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用)

三菱電機株式会社

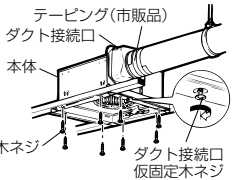
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

3 本体の固定

(1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ8本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因)

(2) ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締付ける。

(3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。



テーピング(市販品)
ダクト接続口
本体
木ネジ
ダクト接続口
仮固定木ネジ

お願い

- ダクト接続をネジで行う場合は**ネジでダクトを接続する場合**を参照してください。

4 電気工事

電線工士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

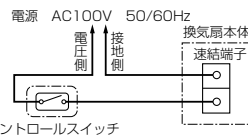
結線図(太線部分を結線する)

お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はお客様のご負担となりますので**結線図を十分ご確認の上、結線してください。**

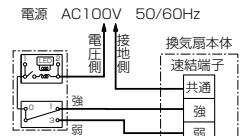
●単一風量機種

電源 AC100V 50/60Hz

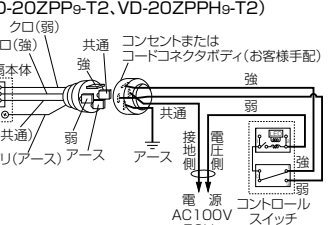


●強弱切替機種 (VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2以外)

電源 AC100V 50/60Hz



●強弱切替機種 (VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2)



●適応コントロールスイッチ

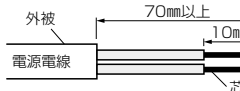
本体形名(単一風量機種)	形名	定格
VD-18ZY12 VD-18Z12	P-10SW2	4A-AC300V
VD-18ZP12 VD-20Z12	P-10SW2	
本体形名(強弱切替機種)	形名	定格
VD-20ZP12 VD-23Z12	P-02SW	4A-AC300V
VD-23ZP12 VD-23ZPH12	P-03SW	
VD-20ZPP9-T2 VD-20ZPPH9-T2	P-04SW2	

●コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」「弱」切替でランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

結線の前に

お願い (VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2以外)

- 電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふきは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。(10mm以上むくと漏電の原因となります)
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取り付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線の1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください)



外被 70mm以上 10mm 芯線

●電圧チェック表(強弱切替機種の場合)

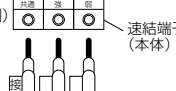
- 線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。

警告

●電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

●電気配線の識別(強弱切替機種(VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2以外)の場合)

- 電気結線を間違えるとモーターが故障します。特に「共通」への結線を間違えると、モーターの温度ヒューズが溶断します。
- 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。



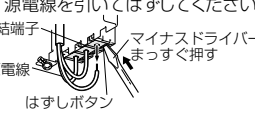
(識別例) 共通 強 弱 速結端子(本体)

結線方法 (VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2以外)

- 本体上部のゴムプッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
- 端子カバーのネジ1本をゆるめて端子カバーをスライドさせてあげ、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
- 端子カバーを端子カバーのあけ方と逆の手順で取付け、ゆるめたネジ1本を締め付け固定する。

●電源電線ははずす場合

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。



速結端子 はずしボタン

結線方法 (VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2)

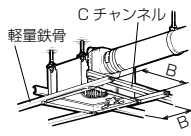
- 電源コード先端には、3極接地形差込プラグ(7A、125V、WF5415相当品)が取付けられていますので同形のコンセントまたはコードコネクタボディを設置する。
- 電源プラグをコンセントまたはコードコネクタボディに差し込む。

お願い ●電源電線は本体上部のモーターに接触しないようにしてください。

本体を野縁に据付けている場合は **7 天井材を張る** へつづく

5 軽量鉄骨を組む

軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで寸法B寸法になるよう据付枠を組む。

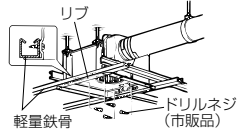


形名	B寸法	単位(mm)
VD-18ZY12, VD-18Z12	280	
VD-18ZP12・20タイプ	315	
VD-23タイプ	395	

6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合

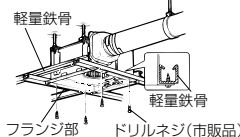
本体内部のリップ(4か所)を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。



軽量鉄骨 Cチャンネル

軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合

本体フランジ部の据付穴を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。

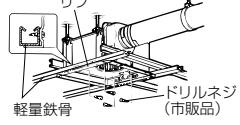


軽量鉄骨 フランジ部

7 天井材を張る

本体を軽量鉄骨に据付ける場合

- 天井材を張る。
- 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。



天井材

本体の内側に合わせる

本体を野縁に据付ける場合

- 天井材を張る。
- 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。



フランジ部 野縁 天井材 2~3mm

お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 天井材の厚さは25以下で据付けてください。(グリルが天井材に密着しない場合があります)

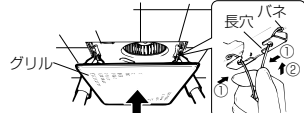
8 グリルの据付け

油煙の発生する場所に据付けた場合、必ず別売のグリスフィルターを据付けてご使用ください。(VD-20ZPP9-T2, VD-20ZPPH9-T2にはあらかじめグリスフィルターが据付けられています)

●グリスフィルターの据付けは、「グリスフィルターの据付け・取りはずし」(表面)またはグリスフィルターに付属の取扱説明書を参照してください。

●グリスフィルターは右表を参照し、本体形名に合ったものを据付けてください。

本体形名	グリスフィルター形名
VD-18ZY12, VD-18Z12	P-18GFZ-M
VD-18ZP12・20タイプ	P-20GFZ2-M
VD-23タイプ	P-23GFZ-M



グリル パネ

- グリルのパネを指先で縮め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

グリルの調整

グリルの方向を変更する場合...天井材に合わせてグリルの方向を変更できます。

- パネを固定しているグリルの引掛部をペンチなどで開き(①)、パネをはずしてください。
- はずしたパネの位置を変えてグリルの引掛部にパネを引掛け、ペンチなどで引掛部を曲げて(②) 抜け止めをします。

お願い ●グリルの引掛部はゆっくりと折曲げてください。急に強く曲げたり、何度も繰り返しますと折れることがあります。

5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチがある場合は、切/入、強/弱切り替えが正しくできると確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

お客様への説明 表面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者(オーナー、ゼネコン)または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
強く結線されていない	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※ 4 電気工事 の電圧チェック表を確認する
本体・グリルが確実に据付けられていない	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
羽根・グリルに異物が付着している	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
本体の固定(天用金具・ネジ止め)が弱い	本体の固定(天用金具・ネジ止め)が弱い	本体の固定を確認する
運転中に異常な音や振動がする	換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット) 換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管) 換気風路の抵抗が大きい(屋外フード)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する ダクトのつづり、急な曲がりやを修正する 屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時)